

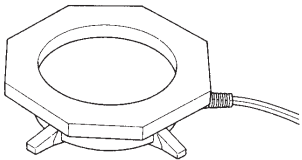
HAKKO

WOODY CUP WARMER

ハッコーウッディカップウォーマー

組み立て説明書

■完成図



■定格 AC100V-12W

中国RoHS 産品中有毒有害物質或元素の名稱及含量

部品名稱	有毒有害物質或元素					
	鉛(Pb)	汞(Hg)	銅(Cd)	六價鉻(Cr(VI))	多溴聯苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
焊錫	×	○	○	○	○	○
螺帽	×	○	○	○	○	○

○:表示該有毒有害物質在該部件所有均質材料中的含量均在SJ/T 11363-2006 標準規定的限量要求以下。
×:表示該有毒有害物質至少在該部件的某一均質材料中的含量超出SJ/T 11363-2006 標準規定的限量要求。

HAKKO

白光株式会社

http://www.hakko.com

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号

TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

■部品リスト

組立ての前にこの表で部品の内容を確認してください。確認ができたなら印を付けると分かりやすいでしょう。

①天板 ……1	②ベース ……1	③ヒーター プレート ……1	④リングバックシム ……1
チェック 	チェック 	チェック 	チェック
⑤ヒーター ……1	⑥ヒーター固定 スプリング ……1	⑦ランプ ……1	⑧組立プラグ (透明) ……1
チェック 	チェック 	チェック 	チェック
⑨ ガラスチューブ (Φ1)/110mm ……1	⑩ターミナル…3	⑪電源コード…1	⑫コードブッシュ…1
チェック 	チェック 	チェック 	チェック
⑬ モクネジ/ 2.4×13mm ……3	⑭ タッピンネジ/ M2.6×6mm ……3	⑮ タッピンネジ/ M2.6×8mm ……3	⑯糸はんだ ……1
チェック 	チェック 	チェック 	チェック
⑰表示シール ……1	⑱取扱説明書 ……1		

■交換部品リスト

部品を壊したり失ったりした時は、下記の品番をもとに代理店で求めください。

品 名	品 番	品 名	品 番	品 名	品 番
①天板	B1479	⑥ヒーター固定スプリング	B1152	⑪電源コード	B1140
②ベース	B1481	⑦ランプ	B1482	⑫コードブッシュ	B1155
③ヒータープレート	B1480	⑧組立プラグ(透明)	B1478	⑬モクネジ/2.4x13 10コ入	B1483
④リングバックシム	B1476	⑨ガラスチューブ(Φ1)/110mm	B1484	⑭タッピンネジ/M2.6x8 10コ入	B1472
⑤ヒーター	B1477	⑩ターミナル 5コ入	B1143	⑮タッピンネジ/M2.6x8 10コ入	B1473

■用意する用具（工具）

- はんだこて…30W、こて先の細い物 ●ニッパ ●えんぴつ ●キリ
- ドライバー（＋）、先の小さい物 ●定規 ●ドリル等φ6mmの物
- 木材加工にあると便利な用具
- 彫刻刃 ●のこぎり 等

まずは準備から。

1

天板にネジをとめる穴をあけます。天板の中央にヒータープレートをのせ穴の部分(6ヶ所)に印をします。図を参考に④はφ6のドリル等で深さ約4mmの穴をあけ、⑤はキリ等で深さ約4mm穴をあけてください。

2

天板を好きな形に切ったり、絵を書いたり、オリジナル加工をしましょう。

△注意

天板を切る際はネジ穴6ヶ所を切らないように注意してください。

3

はんだこてのプラグをコンセントに差し込み平らで安全な所に置いて温めておきましょう。

4

ガラスチューブを10mm2本と45mm2本に切ってください。

5

切断した10mmのガラスチューブをランプの根元までかぶせてください。

次に電源コードを組み立てましょう。

6

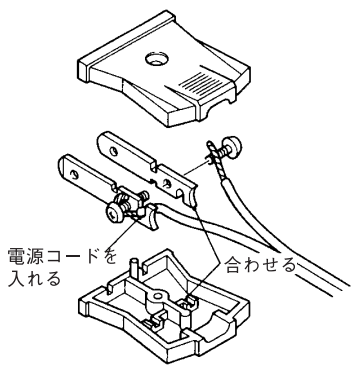
コードブッシュをコードに通してください。コードブッシュの方向に注意してコードの片側を35mmにさきそれぞれ15mm被覆をとってください。次にもう一方を50mmにさき、片側の先を20mm切って、それぞれ10mm被覆をとってください。芯線はバラつかないようにねじっておきましょう。

△注意

被覆をとる時に、芯線を切らないようにしてください。

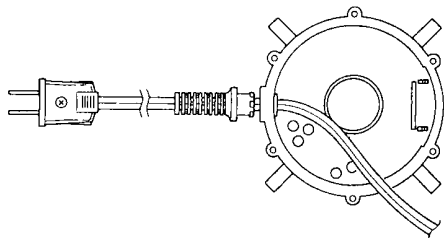
7

差し込みプラグを分解してプラグの金具を取り出し35mmにさいた方の芯線を端子のフックにかけてネジ締方向に巻き付け強くネジを締めてください。余分な芯線は、切り取ってしまいます。プラグの金具を差し込みプラグにもどしプラグを組み立てましょう。(図参照)



8

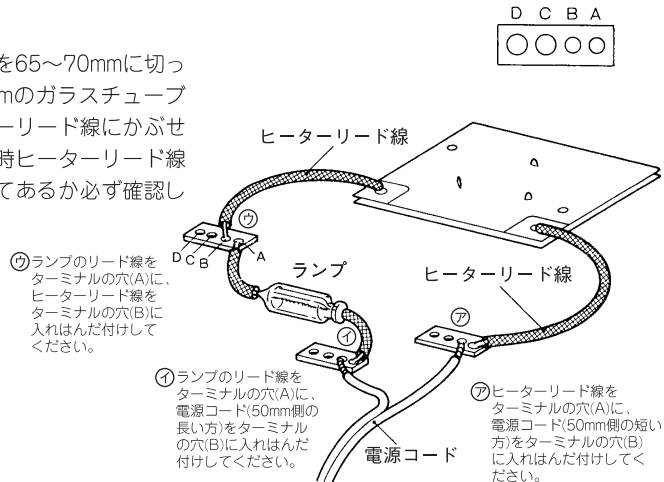
50mmにさいた電源コードをベースの穴に通します。



次ははんだ付けです。

9

ヒーターリード線を65~70mmに切ってください。45mmのガラスチューブをそれぞれヒーターリード線にかぶせてください。この時ヒーターリード線の根元までかぶせてあるか必ず確認してください。



注意

ターミナルの(C)・(D)の穴がはんだでふさがらないようにしましょう。

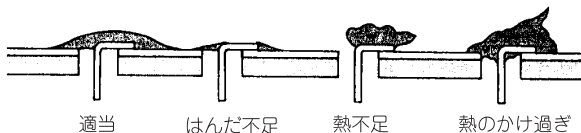
ターミナルは、はんだ付けをすると大変熱くなりますので、直接手を触れないようにしてください。

ヒーターリード線は、はんだがのりにくいため、こて先で十分に暖めた上で、はんだ付けてください。熱がたりないと、いもはんだになり接触不良の原因となります。

はんだ付け手順

- ①はんだ付けする部分をはんだこてで充分に加熱します。
- ②はんだをあてこて先で押えます。
- ③はんだこてを離し、はんだが固まるまで動かさないでください。

はんだ付けの良い例、悪い例



10

上手にはんだ付けができれば、はんだこてのプラグをコンセントから抜いて、はんだこてをさしましょう。

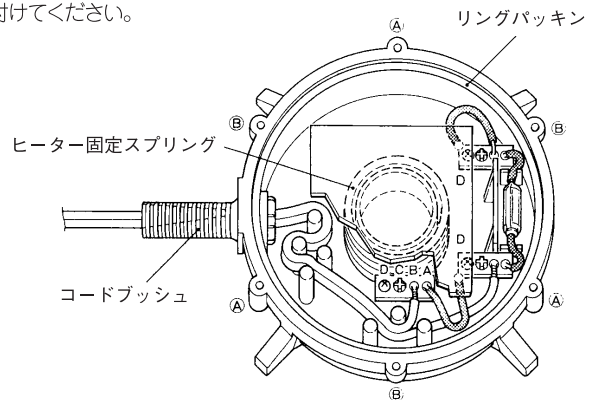
本体を組み立てましょう。

11

①コードブッシュをベースに挿入してください。

②ターミナルをとりつけます。図を参考にターミナルの穴(D)にタッピンねじ(M2.6×6)を通し取り付けてください。

③ランプを取り付けてください。



④ヒーターを取り付けます。ヒーター固定スプリングをベース中央に取り付けます。ヒーターについているスプリング止め部分(3ヶ所)をヒーター固定スプリングの内側に入れるように取り付けてください。

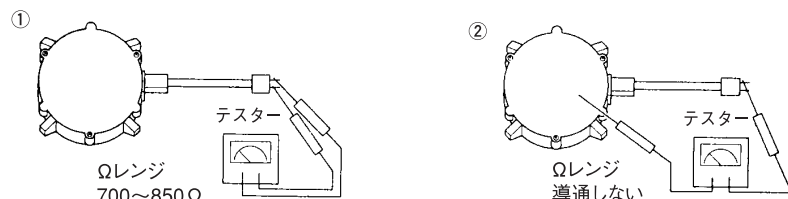
⑤リングパッキンをベースに取り付けてください。

⑥ヒータングプレートのねじ穴をベースのねじ穴にあわせて置き、図を参考に表側からタッピンねじ(M2.6×8)を③3ヶ所に取り付けてください。

ここで一度チェックしてみましょう。

12

* テスターでチェックしてみてください。



Ωレンジ
700~850Ω

Ωレンジ
導通しない

①・②が正常な場合

* プラグをコンセントに差し込んでください。

* ランプが点灯していますか？

①・②が異常な場合

* ヒータングプレートの温度が上がりますか？

注意

熱くなるので気をつけてください。

組立て方法をもう一度読んで調べてください。

* チェックが終わったらプラグをコンセントから抜いてください。

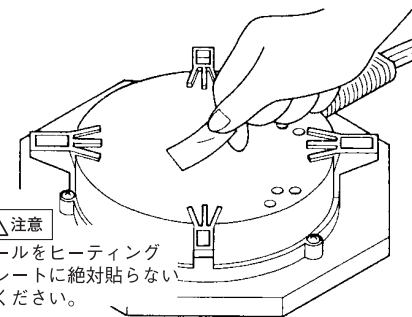
チェックができればさあ仕上げです。

13

天板を取り付けます。天板のφ6深さ4mmにあけた穴(3ヶ所)をヒータングプレートをとめているネジにあわせま。裏側からモクネジを③3ヶ所に取り付けてください。最後に付属しているシールをベースの裏に貼ってください。

注意

シールをヒータングプレートに絶対貼らないでください。



● 組み立てが終われば次のことに注意してご使用ください。

* ヒータングプレートは、コンセントを入れると高温(約90℃)になります。直接手でふれないようにしてください。また、ヒータングプレートのまわりも熱くなりますので十分注意してください。

* コンセントはプラグを持って抜き差ししてください。
* プラスチック・アルミ容器での保温はしないでください。
* このカップウォーマーは、保温器ですので加熱にはご使用になれません。